

## 心を向ける礼

あいさつは声だけのやり取りではありません。大切なのは、相手に体ごと向き合う「**正対**」です。呼びかけられたら手を止め、顔を上げ、目を見て言葉返す。その一瞬の所作が、「あなたを大切に思っています」という**無言のメッセージ**になります。

学校生活では、授業や部活動、友人関係など多くの場面で人と関わります。忙しさを理由に背中越しで返事をすれば、心もすれ違つていきます。反対に、きちんと向き合つて交わす一言は、**信頼を積み重ねる土台**になります。

実業家の松下幸之助は「**礼儀は形だけでなく心の表れである**」と語りました。形を整えることは、心を整えることでもあります。

毎日顔を合わせる人ほど対応が雑になりがちです。しかし、本当に大切にすべき相手は、いちばん身近にいる人です。慣れた関係こそ「**丁寧**」を貫く人であってください。

## 今日の言霊…向き合う一礼

あいさつは単なる習慣ではなく、人との関係を築く基本動作である。ポイントは、呼びかけられた瞬間の行動だ。

**動きを止め、体の向きを変え、視線を合わせて応じる。**その具体的な動作が、相手を尊重する姿勢をはっきり示す。



声の大きさよりも、**態度の誠実さ**が印象を決める。忙しい状況でもひと呼吸置いて対応することで、自分の心も落ち着く。こうした積み重ねが信頼へとつながる。

特に日常的に接する相手には油断が生まれやすいが、**関係が近いほど礼節の差がはっきり表れる。**形を整えることは気持ちを整えることでもある。毎日の小さな所作が、自分の人柄を静かに語っているのである。

**【今回の学び】⇒分からないと言える勇気が成長を早める！**

## 心を向ける礼

あいさつは声だけのやり取りではありません。

大切なのは、相手に体ごと向き合う「**正対**」です。

呼びかけられたら手を止め、顔を上げ、目を見て言葉返す。その一瞬の所作が、「あなたを大切に思っています」という**無言のメッセージ**になります。

学校生活では、授業や部活動、友人関係など多くの場面で人と関わります。忙しさを理由に背中越しで返事をすれば、心もすれ違つていきます。反対に、きちんと向き合つて交わす一言は、**信頼を積み重ねる土台**になります。

実業家の松下幸之助は「**礼儀は形だけでなく心の表れである**」と語りました。形を整えることは、心を整えることでもあります。

毎日顔を合わせる人ほど対応が雑になりがちです。しかし、本当に大切にすべき相手は、**いちばん身近にいる人**です。慣れた関係こそ「**丁寧**」を貫く人であつてください。

## 今日の言霊…向き合う一礼

★問題一（語句の意味） 本文における「**正対**」の意味として最も適切なものはどれか。

ア 背を向けてあいさつすること

イ 体ごと相手に向き合いあいさつすること

ウ 声だけであいさつすること

エ 軽く会釈するだけで済ませること

★問題二（内容理解） 本文で述べられている、あいさつの目的として最も適切なものはどれか。

ア 単に返事を済ませること

イ 相手に自分の存在を示すこと

ウ 相手を大切に思う心を伝えること

エ 忙しさを理由に行動を省略すること

★問題三（内容理解） 本文の内容と一致するものはどれか。

ア 慣れた相手には雑な対応でも問題ない

イ 形だけを整えれば心は整う

ウ 正しい所作は信頼を積み重ねる土台になる

エ あいさつは形式より声の大きさが重要である

★問題四（内容理解） 松下幸之助の言葉の意味として正しいものはどれか。

ア 礼儀は単なる形に過ぎない

イ 礼儀は心を表すもので形を整えることが重要

ウ 礼儀は周囲の目を気にして行うべき

エ 礼儀は習慣として無意識に行うもの

★問題五（記述） 本文によれば、あいさつや礼の心で大切にすべきことを四十字で答えよ。

【模範解答】

★問題一 解答 イ

○解説④ 正対とは体ごと相手に向き合い目を見てあいさつする所作を指し、礼を伝える態度である。

★問題二 解答 ウ

○解説④ あいさつは単なる返事ではなく、相手を大切に思う心を無言で伝える手段であると述べている。

★問題三 解答 ウ

○解説④ 本文は正しい所作で向き合うあいさつが信頼を積み重ねる土台になると強調している。

★問題四 解答 イ

○解説④ 松下幸之助は、礼儀は形だけでなく心を表すものであり、形を整えることは心を整えることだと説く。

★問題五模範解答

**相手に心に向け丁寧な所作であいさつをすること**

○解説④ 本文はあいさつや礼は形と心を整え相手を大切に思う姿勢を伝える重要な手段だと述べている。

あいさつは単なる習慣ではなく、人との関係を築く基本動作である。ポイントは、呼びかけられた瞬間の行動だ。

**動きを止め、体の向きを変え、視線を合わせて応じる。**その具体的な動作が、相手を尊重する姿勢をはっきり示す。



声の大きさよりも、**態度の誠実さ**が印象を決める。忙しい状況でもひと呼吸置いて対応することで、自分の心も落ち着く。こうした積み重ねが信頼へとつながる。

特に日常的に接する相手には油断が生まれやすいが、**関係が近いほど礼節の差がはっきり表れる。**形を整えることは気持ちを整えることでもある。毎日の小さな所作が、自分の人柄を静かに語っているのである。

**【今回の学び】⇒分からないと言える勇気が成長を早める！**